

幻 想 書 人

吾輩は書人である。肩書はまだ無い。

吾輩は書人（字書き）である。肩書はまだ無い。

いつ書人となったかわからない。

何でも狭い書道団体の世界で一枚でも多く書きまくったことを記憶している。

吾輩はここで始めて書家という人間を見た。

しかもあとで振り返ると書道団体に属していなければ書道展に入選することができない狭い派閥の世界であったようだ。

この書道団体というのは時々我々に肩書を与え御礼を請求し破門するという話である。

しかし吾輩は作品を見る目だけは持っていた。

その当時は正しいことを言っただけで何も別段恐ろしいこととは思わなかった。



2024年 9月 1日 煌陵